

西京区に住む人、働く人、訪れる人の小さな愛読書

<https://www.facebook.com/nishikyojikan/>

vol.01  
春号

nishikyo-jikan

# 西京じかん

2017 TAKE FREE 無料

いま、このまちで過ごす“じかん”  
 いままで、このまちを育んできた“じかん”  
 これから、みんなであつていく“じかん”

EIKOSHA

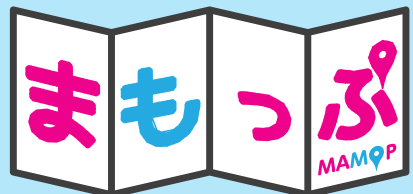
西京じかん

<TAKE FREE>

2017年春号

発行日 2017年3月1日 ●発行所 西京区人権推進部 ●発行責任者 林佳代子  
〒615-0265 京都市西京区中御通道路2-37 ●E-mail [shikyojikan@gmail.com](mailto:shikyojikan@gmail.com)  
FAX 075-920-4297 本誌記事の無断転載を固く禁じます。掲載に同意は取附時現在のものです。

きょうと子育て応援パスポートアプリ



いつでもいっしょ!おでかけのおまもり



© 京都府 まゆまる 2856032

商品の提供など  
参加企業も  
募集中!!

いっしょに  
おでかけしよ~

こんな情報をカンタン検索!

- プレゼント  
ポイントで素敵な  
プレゼントが  
あたる
- トイレ  
おむつ替え  
したい!
- あそびば  
無料スポット  
親子カフェ  
など
- パスポート  
提示で無料や  
割引サービス  
約3,500店舗
- SOS  
急病・ケガも  
安心



めっちゃ  
かんたんやんか

まもっぷを使うには

- まずはアプリをダウンロード  
「まもっぷ」で検索、もしくは右のQRコードから
- アプリを起動  
新規ユーザー登録をしてログイン ログイン画面へ

必要事項の入力

利用規約に同意



登録完了

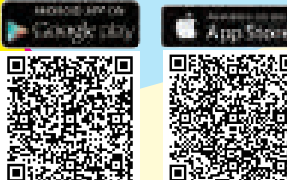
旅行に! 帰省に!  
きょうと子育て応援パスポートが  
ますます便利!  
全国共通展開!

←このロゴマーク入りの  
ステッカーを掲示する全  
国の「全国共通展開参加  
店舗」で利用できます。



まもっぷでゲット!

京都府以外でご利用の場  
合、ロゴマーク入りの新し  
いパスポートが必要です。  
まもっぷでダウンロードで  
きます!



まもっぷホームページ  
<http://mamop.jp>



日野 貴之さん親子



左 城戸 俊明さん  
右 富田 千果子さん



すーちゃんとお友だち



左 ちさちゃんと 右 真希ちゃん 小学3年生2人組。

ギネス世界記録に挑戦  
桂中学校 9/25

区制40周年を記念して行われた「参加者全員で一斉に手首を握り、60秒以上手首をつないだまま動かない取組の参加人数を競うチャレンジ」。4052人でみごと世界記録を達成しました!!



桂サッカースポーツ少年団3年生のみんな!

# まちかど 笑顔図鑑

西京区のみなさんの笑顔、笑顔…。いっぱい出会いたくて創刊号は3つの会場で撮影しましたよ。みなさん、ご協力ありがとうございました。これからも笑顔図鑑撮影隊、見かけたら声をかけてください!〜

西京じかん編集部

2017年3月



『西京じかん』を手にとってくださいましたみなさまへ

どんな毎日をお過ごしですか？

広い世界の中の、西京区というこのまちで、暮らし、働き、行き交う人、ひと、ヒト。そんな「人」と、

「人」が作り出す楽しいこと、面白いものに眼差しを向け、

この『西京じかん』をつくりました。

特別な日も、そうでない日も、

まちを歩けばきらきら光る宝物があり、

必ず素敵な人々との出会いがありました。

発行にあたり、ご協力、応援いただいたみなさま、

ほんとうにありがとうございます。

人の数だけ物語があります。

みなさんにも、みなさんのお隣の人にも。

そのことに思いを巡らせば、

毎日すぎていく時間への感じ方が

少し変わるかもしれません。

『西京じかん』が

そんなきっかけになりますように。



日野 貴之さん親子



左 城戸 俊明さん  
右 富田 千果子さん



すーちゃんとお友だち



左 ちさちゃんと 右 真希ちゃん 小学3年生2人組。

ギネス世界記録に挑戦  
桂中学校 9/25

区制40周年を記念して行われた「参加者全員で一斉に手首を握り、60秒以上手首をつないだまま動かない取組の参加人数を競うチャレンジ」。4052人でみごと世界記録を達成しました!!



桂サッカースポーツ少年団3年生のみんな!



本荘 和日さんファミリー  
(この日は日差しがめっちゃめっちゃ強かった!まぶしくてごめんね~)

# まちかど 笑顔図鑑

西京区のみなさんの笑顔、笑顔…。いっぱい出会いたくて創刊号は3つの会場で撮影しましたよ。みなさん、ご協力ありがとうございました。これからも笑顔図鑑撮影隊、見かけたら声をかけてください〜

2017年3月  
西京じかん編集部

『西京じかん』を手にとつてくださつたみなさまへ  
どんな毎日をお過ごしですか?  
広い世界の中の、西京区というこのまちで、暮らし、働き、行き交う人、ひと、ヒト。そんな「人」と、「人」が作り出す楽しいこと、面白いものに眼差しを向け、この『西京じかん』をつくりました。特別な日も、そうでない日も、まちを歩けばきらきら光る宝物があり、必ず素敵な人々との出会いがありました。発行にあたり、ご協力、応援いただいたみなさま、ほんとうにありがとうございます。  
人の数だけ物語があります。みなさんにも、みなさんのお隣の人にも。そのことに思いを巡らせれば、毎日すぎていく時間への感じ方が少し変わるかもしれません。『西京じかん』がそんなぎっかけになりますように。



# 西京こんな人みつけ～



昭和27年の白井 義男さん以来、80人を超える歴代世界王者を抱える日本プロボクシング界。しかし京都出身の世界王者はいまだ一人もいない。その第一号に名乗りを上げているのが、京都市西京区の「WOZジム」所属の大森 将平選手(23)。昨年、大晦日にバンタム級世界王座に「島津アリーナ京都」で挑戦予定だったが、王者の怪めでキャンセル。しかし、代わりに行われたノンタイトル戦は鮮やかな3回KO勝ちを飾り「次は世界しかない」と、意気込む。



**大森 将平選手**



大原野小学校長とPTA現役・OBのみなさん  
左から 齋藤 行則さん、岩田 聖次校長、中村 有真さん、西村 義直さん 祝 大文字駅伝23年ぶりの出場!!

## 〈西京ひとつ会〉エミナース 11/25

区内小中高のPTA役員、現役・OBOG会。子どもたちの学校生活を縁の下で支えてきたみなさん、ヨコのつながりもばっちりです。



子育てするなら西京区

京都市副市長 藤田 裕之さん  
副市長は西京区民なのです



会の世話役のみなさん  
後左から 國場 淳さん 城戸 俊明さん 松島 季代子さん 前左から 永田 英司さん 俣野 一博さん「PTAの役員は、〇〇ちゃんのお母さん、というだけでなく一人の大人として親同士の交流があり、とても楽しい貴重な体験でした」(榎原中学PTA会長を務めた松島さん)



宇佐美 誠次さん、美栄子さん、お子さんは3歳、5歳、7歳、12歳の6人家族  
「子どもが陶芸体験をしたご縁で、陶芸の先生のお店NESTで販売されているジビエの鹿肉ソーセージ目当てにやってきました」



本田 リサさん  
「今年から自作のCD、ZINE(自費同人誌)、マンガなどを売っています。いつか自分のお店をもって、たくさんの無名の人たちの作品を紹介したいです」



諸岡 弘さん  
「読み聞かせをたくて、会社を早期退職し、20年活動を続けています。サラリーマン時代は電車でお出会う赤ちゃんに泣かれたこともありましたが、今は大丈夫」(JPIC読書アドバイザー 関西支部代表)



日下部 純江さん  
「近所で画家の夫が絵画教室をしているので来ました。図録、たくさんあるんだけどね～(と笑いながら買っちゃいました)」(子ども向けの英語講師や読み聞かせなどされています)



黒田 善就くん  
「一箱古本市にあった間瀬文庫で本を2冊購入。家で開けてみると「赤い蠟燭と人魚」のに入った小川未明の童話集と星新一の短編集だったそう」



西京区にゆかりのある人たちが集まった”村祭り”、素敵なお店やイベントがいっぱい、笑顔もいっぱいあふれていました～



桂ヴィレッジフェス 本願寺西山別院



幸 光時くん  
('右京じかん'にも登場の光時くん。お兄さんぽくなったなあ)



左から ふうちちゃん(小1)、あつひでくん(小1)、あおいちゃん(小3)あおいちゃんとふうちちゃんはお友だち同士。可愛いお揃いの服で大の仲良しです。あつひでくんはあおいちゃんの弟くんですよ



葛巻 大輔さん、由紀子さん、かんと君、ことのちゃん  
「初めて来ました。肉巻きおにぎり、おいしかったね～」(かんと君とことのちゃんは双子なのです)



# このひとにきく西京のまち

毎日暮らし、通り過ぎていくまちのこと、意外と知らないってことありませんか？このコーナーでは、西京区のまちを愛するキーパーソンに、その魅力や自身の思いを語っていただき、まち歩きのおすすめスポットをご紹介します。さあ、「西京じかん」片手にかけてみませんか。

榎原

## 「歴史好き」が注目するまち

榎原に、「歴史好き」が注目する由緒ある町並みが残っています。

この地は、江戸時代には参勤交代の宿場町として栄えました。大名の宿である市内唯一の本陣や脇本陣、町家など、当時を語る古い建物…。それが、山すそからうねる旧山陰街道沿いに点在する様は、市の中心部の景観とはまた違った趣があります。

この歴史的にも価値のある風景を残していきたいと「榎原町家灯籠会」の活動を始めた

のが鈴木さんです。

「歴史はお金では買えない貴重なもの。残していくには、子どもたちが住み続けて、家が継承されないといけない。そのためには時代に合わせた活用法などが生まれることも必要。街道沿いだけの問題ではなく、榎原学区や西京の中で、住民の心のふるさとなるようなまちにしていきたいんです」

そこで、鈴木さんたちは、手作りの灯籠を並べ、大人も子どもも楽しめるお祭りを企画。2013年にスタートし、昨年9月の7回目では「中秋の灯籠会」と題して、マルシエや本

陣の壁を使ったプロジェクトもマップングなど趣向を凝らしました。

また、鈴木さんは、まち歩きツアーの案内人も務めています。「商家の屋号の名残を説明すると、とても興味を持っていただけます。写真撮影が始まるとなかなかツアーが進みません(笑)」。

地域のために始めたことを通じて、地域外とのつながりも生まれています。そんなネットワークづくりも私の役割なのかなと思っています」

## 歴史を知るとさらに榎原がおもしろくなる!!



鬼瓦には昔の屋号の名残が残っている。こちらは昔、郵便局だった。

▲大名行列の馬をつなぎ止めておく馬止め。井戸も残されている



▲京都市で7か所しかない「京都境界景観整備地区」にも認定されている



▲中二階に虫籠窓(むしこまど)を残した立派な町家

## ニューヨークから見た榎原は…?

そんな榎原のまちに10月17日、米国、カナダから12人の女性たちが訪れました。

ニューヨークで日本のアンティーク着物の店を営むナンシーマクドナーさんとそのお客さまの一行です。旅の目的は、「日本のテキスタイル(布

さまを日本にお連れしますが、西京区は13年間で初めて。日本に来たことがある人も、このような京都の中心部ではない地域を訪れる機会はありませぬ。日本の普通の人々の暮らしに触れる大きなチャン

しくなりました。西京区榎原での時間、すてきな思い出になりますように。



▲真剣に型彫りに挑戦。

地)。友禅の型彫りから体験できるのが、このとき京都中であんなと榎原の和田禅工房しかない！旧街道の風情も味わえる、というここでははるばる来られたのです。

ス、ほんとに素晴らしい経験です」と目を輝かせてお話ししてくださいました。

和田禅工房のある榎原蛸田町は、町家の街道からはずれた、ごくごく普通の住宅地なのですが、その街並みを「かわいい」「かわいい」と見学。そうなんですか？！

みなさん、おしゃれで好奇心旺盛。そんな彼女たちに街並みを「かわいい」と言っていた



「はい、ウイスキー」



▲とってお茶目な和田則昭師匠ですが、「京の名工」にも認定されている京友禅型の伝統工芸士なのです



▲蛸田町の住宅地に「かわいい～」の風



▲「まちやカフェチャーミーちゃっと」でランチ。この日はベジタリアンにも対応したスペシャルメニュー、みなさんお箸使いが上手です

榎原町家灯籠会代表、  
有限会社鈴木モータース  
代表取締役社長  
鈴木 千鶴さん

楽しく気楽に、でも深い!!

# 西京（じやう）じやう

西京のまち、人が集まってなにやらやったりしやれば、のぞいてみたくなる「西京じかん編集部」。今回は、川島の住宅街のある場所で開かれている「おしゃべり会」なるものにお邪魔しました。



## 井戸端会議とは ひとのじちがい:

この会、テーマが毎回メンバーに事前に知らされます。今回は、「私のひと月 面白かったこと 悲しかったこと」と「今、私の最も大切な...」。年とともに大切なものが変わるんちゃうかな。私は女房が大事になってきましたなあ。前は一人でできたことが、2人でひとつ、2人で半分くらいになりまして。相手の大事さが身に染みますな」と、伊藤省二さん(71)が口火を切ると、「それは殊勝な考えやけど、奥さんがあなたを同じように思わはるとは限らんよ」「結婚する前は女性が男性に『私を捨てないで』言うけど、結婚したら男性が言う(爆笑)と、どんな会話がはずんでいきます。

## ないなら作るのー! 80歳で居場所(いへ)へい

発起人は元教師の田中 収さん

## 好奇心 とんとん生まれる

レジユメを配るのは永野元玄(もととはる)さん(80)。「わしは(副社長ならぬ)複写長やドメカー。(笑)と常に場を和ませますムー野球の名審判。あの1979年夏の甲子園、箕島高校と星

後高校の延長18回の試合の球審を務めた方なんです!!) この日のレジユメは、「常識」 「お金をテーマにした社会学、哲学の文章の抜粋。それをヒントに身近なネタから文化論、スポーツと経済力、人工知能のことなど、話題はとんとん広がって、笑いあり、新たな発見あり。みなさん、好奇心いっぱいでも愚痴なんて語る暇はない!!こんな「おしゃべり会」が各町内にあつたら、西京区にもっともっと笑顔が増えるかもしれませんね♪



永野 元玄さん(80)

常識はそれぞれ違っていてことを知らない。そうしたら喧嘩にならない。

田中 収さん(81)

昨日の常識は今日の非常識ちゆうことですか。(笑)

伊藤 省二さん(71)

栄養学もね、見直さないといけない。いいと言うてたものが、時がたてば悪いものになってたりする。

村谷 純一さん(69)

かつて一つの常識が世間を一つの方向に導いてしまったことがある。バランスが大事。まあバランスのいい人間より個性の強い人間のほうがおもしろいけど、どっか行ってまいよ。

大村 義弘さん(69)

桂飴の看板は地域の歴史を語っている。金メダルより値打ちがある!! 価値っていうのは長い間の「時間」だと考えれば、それは取り戻せないですよ。

金メダルとかでも、人にとってはゴミくず同然というものもありますよね。うちの看板もね、ほっておいたらゴミになります。

遠山 隆夫さん(78)

「桂飴本家 養老亭」の店主だった遠山さん。350年以上の歴史ある看板の保存についてこの日の話題となりました。

江口 悦子さん(77)

ここに居るのがほんまに楽しみです。

金上 進さん(66)

泳ぎに来てる人、風間は年寄りが多いですね。

健康にいいとなったらやりすぎる。バランス感覚が悪いんだな～日本人だな～

千代原ロトンネルができるまで、現場のごはん炊きをしてたんですよ。だから男性が多いのは慣れてます(笑)

いつもニコニコ笑顔。中村 ナミ子さん(75)

ここには登場していませんが、メンバーの1人が整備された「花こみち」。四季折々の花で地域住民を楽しませています。

このまちの景色を守り、歴史をつなぐ人たちがいます

## 西京たからもの図鑑

竹職人のおじいさんから受け継いだ竹建築の最高傑作「かぐや姫竹御殿」



情熱と研究から生まれた「竹取物語」世界感の独創

諸説はあるものの、竹の産地であった西京にはかぐや姫の歴史があったと言われている。そんな西京の地に、「竹取物語」の世界観を再現した伝統建築のお屋敷があるのをご存知だろうか。その名も「かぐや姫竹御殿」。西京に住んでいればきっと、一度は目にすることがある方も多いのでは。独特の雰囲気放つこの建物は、建材から調度品まで全て竹でできている。とても珍しい「竹の建築物」だ。今回はこの建物を守るご主人、長野忠生（ながのただお）さんにお話を伺った。

「この建物は私の祖父が建てたものです。地元の竹職人であった祖父はかぐや姫の物語を熱心に研究していました。竹をテーマにした別荘を造るといことはずっと頭にあったらしく、竹取物語の世界に入り込み、仕事ではなく自分で楽しむために建てたもの。祖父は研究者で、竹細工独自の知識や技術を生み出し、建材や調度品の一つ

つがとても珍しいやり方で造られています。」

「折り鶴信仰」が自然発生

奥の茶室に入ると、かぐや姫と思しき立派な像が。地元の人形職人による、想像上のかぐや姫だという。足元には色とりどりの小さな折り鶴がたくさん供えられている。この建物を観光向けに公開してから、折り鶴を置いていく人ができて。それが自然に増えていったんです。今ではこの折り鶴に願い事を書いて供える、願いが叶うと言われてる。海外の方のために、鶴の折り方も示してある。



この地でできることをやる

竹御殿で用いられた竹の加工技術は多様だ。壁は竹の粉を力ゼインを使って固めたものを使用し、竹のモザイク貼りで仕上げられている。屋根も竹で葺き、雨戸の柱や廻縁、窓の格子も竹製だ。

しかし、かつて建材として利用されていた竹も、今では産業自体がなくなり、竹職人



「かぐや姫竹御殿」を守る  
長野忠生さん(73)

もいなくなりました。竹は雨に弱く、老朽化も進む。できる人がいないため、建物の修繕は忠生さんが見よう見まねでやっているという。

「子供のころ、祖父と一緒にこの建物を造るのを手伝った記憶がある。その時を知っているから、自然となんとかしようという気持ちでやっていますね。」忠生さんは60歳の時に機械エンジニアの仕事を引退し、この竹御殿を長年にわたり守ってきた。「なんでか」と聞かれたこともあがあるが、結局ここに戻ってきた。運命的なものだから、できるだけやるつもりです。」



西京たからもの図鑑

## かぐや姫竹御殿

かぐや姫竹御殿  
京都市西京区松尾万石町51  
075-381-2970  
土日祝12:00~17:00  
(平日は予約制)不定休  
入場料:300円



絵と文 阿部夏希

# 西京すてき発見



これまでも、これからも音楽で人とつながり、自然を感じる幸せ  
大原野に暮らすアフリカンドラマー&ダンサー

藤井容(よおさん)  
雅子さん



西アフリカの太鼓「ジェンベ」をご存知ですか？現地では、ジェンベは言葉なのだという。夫・容さんが叩き奏でるジェンベの言葉と一つになるように全身で踊る雅子さん。激しい動きに衣装が翻るさまは、極彩色の鳥や蝶のようで、そのまま変身してしまうのでは？と思ったほど。大原野にこんな人たちがいる!!ということ

「お話を伺いました。」  
「一方、雅子さんが西アフリカのダンスを始めたのは、OL時代、身体を動かしたいなあとか、ルチャースクールでレッスンを受けたのがきっかけ。「生の太鼓の音で初めて踊って衝撃を受けました」その場にいた、現在雅子さんが所属するグループBACHIKONDOOO(パチコンド)のメンバーに誘われ、次第にはまっていた。ついには仕事を辞め単身西アフリカへ。「うちは親に大反対されました」と雅子さん。

さんがライブに通ううちに「容さんに」会場でナンパされました(笑)」

場所は、雅子さんが働く「オーガニックニコ」の畑の前。青空に緑の葉っぱたちが映える気持ちのいい日で、道ばたにゴザを敷いてのインタビューになりました。(すみません、でもそれを許してもらえそうな雰囲気のお2人で！)

「はじめは、雅子さんが容さんに伝統音楽について教えてもらう立場だったが、共にステージに立つように。今でこそ、全国にグループがあるくらい人口が増えたけど、当時はまだ少なかった」と容さん。2010年に結婚。13年に容さんの生まれ故郷である大原野に引越してきた。容さんは人体模型(ー)を作る仕事も請け負っている。雅子さんは、農業に携わり、畑仕事から出荷作業、出店販売などをこなし、そして2人は時には一緒に、時には別々に、ライブやワークショップなど音楽もナリワイにしているのだ。

## はまった♪♪♪♪♪

容さんは、大学時代にジェンベに出会い、卒業後すぐに本格的に学ぶためニア、セネガルへ。帰国後はプロのドラマーとして演奏する他、現地アーティストの来日ツアー運営や音楽イベントの企画などを手

## そんな2人の出会いは...

2003年、大阪でのライブのとき。迷子になった雅子さんが道を尋ねた太鼓集団の中に容さんがいた。その後、雅子くありたい、という気持ちがある。裸足で土を感じたり、いろんな意味で土臭い感じが自分に合っているのかな。これまでもこれからも、好きなことで人とつながり、日々を大切に生きていく。2人のそんな思いは、太鼓とダンスの言葉に乗って今日もどこの誰かに届けられているかもしれません。



▲雅子さんたちが栽培する野菜はすべて農業・化学肥料不使用

## 西アフリカ音楽の魅力とは、

容さんは、「太鼓一つどこでも演奏できるし、アフリカでは太鼓があれば初対面でもすぐに仲良くなれる。それにこれが正解、とかではなくその人の持っている太鼓の音色、個性を評価してくれるところ。やってもやっても終わりが見えず、シンプルだからこそ奥が深く難しくもある。僕もこの先、年齢に合った音や言葉を表現できればいいな」と



▲全国からプロのアーティストが集結した「ジェンベ」打「サミット」を主催。イベントとしての顔も持つ容さん

## 西京区、この地域について

「山がすべそばにあってすごく静かなところ、古い文化が残っているところと賑やかな地域が隣り合わせになっている、面白い地域」(容さん)

「ここから見える山々から季節を感じられる豊かな自然が気持ちに入ります。ユニークな人がたくさんいて、そんな人とのつながりも楽しい!!みんなで地域を盛り上げていきたいなと思います。趣のある家が欲しく(笑)」(雅子さん)



▲雅子さんは息子の奏くんをおんぶしてマルシェを仕切ります

雅子さんは、「家族や友だち、仲間みんなでやる音楽ってところかな。新しい人ともつながっていい。それに私は兵庫県三田市の田舎育ちで、自然の近くにいたい、人間らし

## お知らせ

レッスン情報 ◆ダンス&ジェンベ/毎月1回日曜日  
ところ：マクロビsalon『PINO』(大阪府吹田市)  
◆ジェンベサークル『DOUNIYAHKAN(ドゥニヤカン)』/毎週月曜日  
ところ：長岡京市中央生涯学習センター(京都府長岡京市)  
保育園や福祉施設などでの公演も行っている。  
オーガニックnico出店販売 ◆山崎十日市/毎月10日(JR山崎駅前ひろば)  
詳しくは、おもしろ楽しい雅子さんのブログ「た・び・よ・り~旅+日和~」でチェック。  
<http://mako-bachikondooo.seesaa.net/>





# ハヤト瓜 無人販売



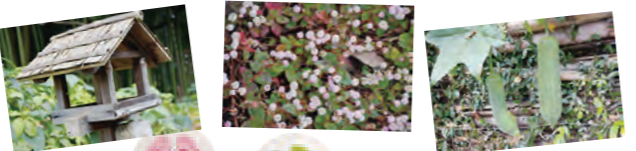
皮をむき  
5mm位に切り  
オイルで両面  
焼く

**さ、3m~5m?!**

早速帰って作ってみました〜

・皮をむき3mm~5mm位に切りオイルで両面茶色に焼き、塩コショウorシーズニングスパイス等をふりかけ、熱々を頂く。

- その他
- ・人参ときんぴらに漬物(浅漬、めか漬、甘酢漬)
  - ・炒め物(豚肉、ベーコン、挽肉と)
  - ・煮物(おでんの具に)
  - ・スープ(具たくさんスープに)



## 来迎寺



▲檀家のみなさんが山で切ってきた木を使って建て替えられた本堂。立派なご本尊様が拝めます。誰でも立ち寄り、気軽にお茶したり、子どもたちが宿題をしに来たりと、地域に開かれたお寺です。



ご詠歌の練習の後、わいわいするご婦人たち。



▲お買い物帰りの衣笠ファミリー。

「静かがいいところですよ〜」



多肉植物LOVE♡



▲地蔵院は、室町時代に武将 細川 頼之が建立、「竹の寺」の呼び名で親しまれています。あの一休さんが幼少期に修行されたお寺でもあるのです。紅葉が美しかったです！

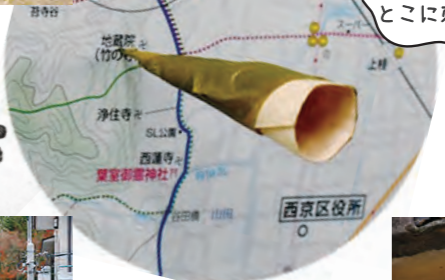
**Go!**



と、思いきやあれ、初っぱなから名所に刺さる。



どんなマイナーなところに刺さるのか



## 山田北ノ町 西京区

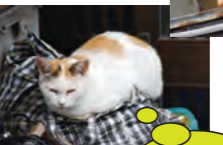


少し離れると住宅街。ヒトがいな〜い



## ヒト発見!

とあるお宅の目隠しフェンスを取り付けているのは「イワシタ創建」(城陽市)の岩下親子。息子の叶夢(かなむ)さんは大学生で、現在お父さんの仕事の修行中だそうです。



にゃんだ、おまえら?



なぜに忍者の格好?

ただ やりたかったから〜



# 西京吹き矢の旅

西京区の日常に会いたくて、吹き矢の旅に出かけました〜  
手製の吹き矢、刺さったのはここです!  
というわけで、今回は山田北ノ町  
地蔵院あたりから30分ほどの歩き始めました〜

# 大募集

ヒト

モノ

場所

写真

## 西京じかんの記事になりそうな

西京のステキ、不思議、不気味…ずっと気になっている謎なスポット、ヒト、物体を調べてほしいなどなど編集部におまかせください！西京区の食材で作った料理「西京めし」を紹介して下さる方も絶賛募集中です。

〈応募先・お問い合わせ〉

「西京じかん」編集部 〒615-8265 京都市西京区山田御道路町 3-37  
FAX 075-390-2597 メール nishikyo.jikan@gmail.com

ご応募・お問い合わせの際は、お名前、ご住所、ご連絡先のメールアドレス、電話番号を明記ください。

※採用・不採用ともに情報資料、写真などの返却はできません。



ドタバタしたばたししながら、  
ようやく創刊できました。  
ご協力いただきたい本当に  
たくさんのみなさま、  
ありがとうございます！  
これからもよろしく  
お願いします！



桂ヴィレッジフェス会場で笑顔図鑑撮影隊として奔走してくれた黒田 里佳さん(左)と中野 道子さん(右)。日頃は福西小学校 PTA 読み聞かせクラブ「お話宝石箱」などで活躍中です。

四コママンガに挑戦してくれたのは、キュートな双子の姉妹 岩村 咲良(さ)ちゃん(左)と芽依(めい)ちゃん(右)。西陵中学2年生です。芽依ちゃんが描いた絵に咲良ちゃんが色を塗ってくれましたよ♪



マユキチこと寺本 真弓さんの手作り消しゴムはんこがあちこちに登場～。洛西ママカフェのマルシェなどで活躍中。オーダーも受け付けてます。



「西京たからもの図鑑」やマップなどを担当してくれたのは、阿部 夏希さん。全国のクリエイターが町への思いを作品にする「マチオモイ帖、シリーズの「かつら帖」の作者でもあります。「今回は竹の雰囲気を出すのがたいへんでした」



1 行広告募集 お店の宣伝・イベント告知・自己アピールなどなど… 1 広告 5000 円～ 詳しくは編集部まで

協賛企業・団体・個人様を募集しています。「西京じかん」次号が出るかどうかは、みなさまの応援にかかっています。詳しくは編集部まで。よろしくお願ひいたします!!

【表紙について】  
西京区で一軒となっていた銭湯「桂湯」の時計。昭和4年の創業以来、西京区の人々の暮らしに寄り添い時を刻んできました。

【あいさつの頁】  
西京区在住の作家、高田 テルヨさんの豆ずきんたち。ひとつずつ顔が違います。あなたに似た子がいるかも。(協力 雑貨店おやつ)

### たけによん登場の巻



さく・え 咲良&芽依

# にしきょうわらしべ

みんなが知ってる「わらしべ長者」現実の世界でやってみたら…?

『西京じかん』の先輩である『右京じかん』で人気の企画「うきょうわらしべ」を、西京区でもやってみよう！どんな物語になるかは、参加してくれたみなさん次第。というわけで、最初のわらしべは、編集部より、「漢字のくるみぼたん 西」ですよ～「ああ、これちょうど欲しかったんや」という方はすぐに応募を！

最初のわらしべ

はじまりはじまり～♪♪

漢字のくるみぼたん 西”。着物地に「西」の文字を、西京名物・竹をイメージした地色で染めて、編集部が手作りました。サイズは直径18ミリとなっております。「この漢字のくるみぼたん 西」と私の〇〇〇〇を交換したい！」という方は、ぜひ応募ください。



### 応募方法

交換対象品の説明と画像(物はまだ送らないでください)、お名前、ご連絡先を編集部まで送ってください。(メール、郵送どちらでも可) ご応募くださった方の中から編集部が交換対象品を選び、ご連絡いたします。フェイスブック(<https://facebook.com/nishikyojikan/>)からも応募できます。

### 応募先

西京じかん編集部 〒615-8265 京都市西京区山田御道路町 3-37  
Fax 075-390-2597  
E-mail nishikyo.jikan@gmail.com

### 応募資格・ルール

わらしべには応募資格があります。ズバリ「西京区にゆかりのある方」です！例えば、西京区に住んでいる、西京区の職場、学校、施設に通っている。西京区出身。好きな人が西京区にいる。西京区に行くことがおどる。とにかく西京区が好き！ってことが条件です。



# 西京探索マップ

西京区って意外と広い？自然あふれる西山の風景を歩いてみませんか。



今号の  
「西京吹き矢の旅」  
ささったのは松尾学区の  
山田北ノ町!

<p><b>MAP 1</b> 第30回 KYOTO 西山高原アトリエ村展</p> <p>日時: 5月3日(水・祝)、4日(木・祝) 10時~17時 場所: 西山高原アトリエ村(大枝省掛町26) 入場料: 無料、無料駐車場あり 問合せ: mail@artunion.info</p> <p>西山の頂上集う作家さんたちのアトリエが開放されて絵画、彫刻、工芸などが展示されます。ライブやものづくり体験、作品販売や飲食出店もありゆっくり過ごせますよ!</p>	<p><b>MAP 2</b> 善峯寺 文殊寺宝館開館【春期】</p> <p>日時: 4・5・6月土・日・祝(4/1~16は毎日) 時間: 9時~16時半 入山料: 大人500円高校生300円小・中学生200円 問合せ: ☎075-331-0020 善峯寺</p> <p>お寺所有の仏像、絵画、書跡、染織、陶器など貴重な文化財の一部を一般公開。自然豊かな境内からは京都市街や叡山を一望できます。</p>	<p><b>MAP 3</b> 西京こどもまつり</p> <p>日時: 5月20日(土) 10時半~15時半 場所: ラクセーナ広場 パーゴラ広場</p> <p>問合せ: ☎075-333-1225 上里児童館</p> <p>西京区の児童館、学童保育所が集まって工夫を凝らした遊びや工作コーナー、パフォーマンスなどを企画。毎年たくさんの親子でにぎわいます。</p>
<p><b>MAP 4</b> 松尾大社 フリーマーケット「亀の市」</p> <p>日時: 4月9日(日)、5月4日(木・祝)、6月11日(日)、7月9日(日) 9時~14時半 場所: 松尾大社(阪急電車松尾大社駅下車すぐ) 問合せ: ☎075-871-5016 松尾大社</p> <p>「亀の市」の「亀」は、松尾大社の神使が亀であるところから。掘り出し物がみつかるかも♪本殿前にある健康長寿にご利益があるという撫で亀さんを撫でるのもお忘れなく。</p>	<p><b>MAP 5</b> らくさいマルシェ</p> <p>日時: 毎月最終土曜日 10時~16時 場所: ラクセーナ広場 (洛西高島屋前・洛西ターミナル前) 問合せ: rakusaimarche01@gmail.com</p> <p>個性豊かな手づくり品、大原野の新鮮野菜やグルメ、などが並びます。ライブあり、たけにょん登場ありの老若男女が楽しめるマルシェです。</p>	<p><b>MAP 6</b> マルシェ大原野</p> <p>日時: 毎月第1・第3土曜日 9時~12時 (売り切れ次第終了) 場所: JA京都中央大原野支店前 大原野灰方町179</p> <p>地域のみんで計画を進め、7月から定期開催されています。大原野の新鮮、安心、高品質な農産物や加工品をゲットできます。生産者の方とのお話もお楽しみのみとつ。</p>

**MAP 7** 桂湯 勝負湯(菖蒲湯)

日時: 6月5日(月) 15時半~22時半  
場所: 桂湯(阪急電車桂駅徒歩4分56秒)  
入浴料: 大人430円 中人150円 幼児無料  
問合せ: ☎075-381-4344 桂湯

菖蒲の栽培が減り、入手が難しくなる中、桂湯では伝統的な風習を守り続けています。「勝負湯」と銘打つのはご主人の洒落っ気。邪気を払ってこころの勝負に備えましょう!

**西京かわいいおでかけさん**

ねぞうアートに挑戦したよ。

左 あらたくん(3ヵ月) と 右 美心(みこ)ちゃん(2ヵ月)  
11/29 桂駅前に誕生したママの居場所プロジェクト「ママいるはうす」オープニングイベントにて

(ご注意) 掲載情報はすべて2017年1月現在のものです。詳しくは各施設へお問い合わせ下さい。

# 西京おでかけ情報

春は始まりの季節。行ったことがないところへ、いざ、おでかけ!

〈2017年4月~7月〉

